

証券コード:7472

“百年の信頼を、未来につなげる”

株式会社鳥羽洋行

2022年3月期 第1四半期

決算説明補足資料

2021年8月6日(金)

I .2022年3月期 1 Q決算について

II .今後の戦略及び見通し

I .2022年3月期 1 Q決算について

I.2022年3月期 1Q決算について



株式
会社

鳥羽洋行

<2022年3月期1Q 損益計算書の概要>

(単位：百万円)

	21/3月期 1Q	22/3月期 1Q	前期比 (増減率)	備 考
売 上 高	5,900	7,261	23.1%	・電子部品や半導体製造装置向け国内販売が回復 ・中国のスマホ向け得意先への販売は引き続き好調
営 業 利 益	256	434	69.2%	・売上総利益率は+0.1 P ・販管費は前期比+4.2%
営 業 利 益 率	4.4%	6.0%	+1.6P	
経 常 利 益	295	481	62.7%	
経 常 利 益 率	5.0%	6.6%	+1.6P	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	210	335	59.4%	
四半期純利益率	3.6%	4.6%	+1.0P	

Point !

- 売上高では、半導体、電子部品向け販売が、コロナ禍前水準へ回復
- 半導体不足の影響により自動車・車載部品向けは伸び悩む

I.2022年3月期 1Q決算について

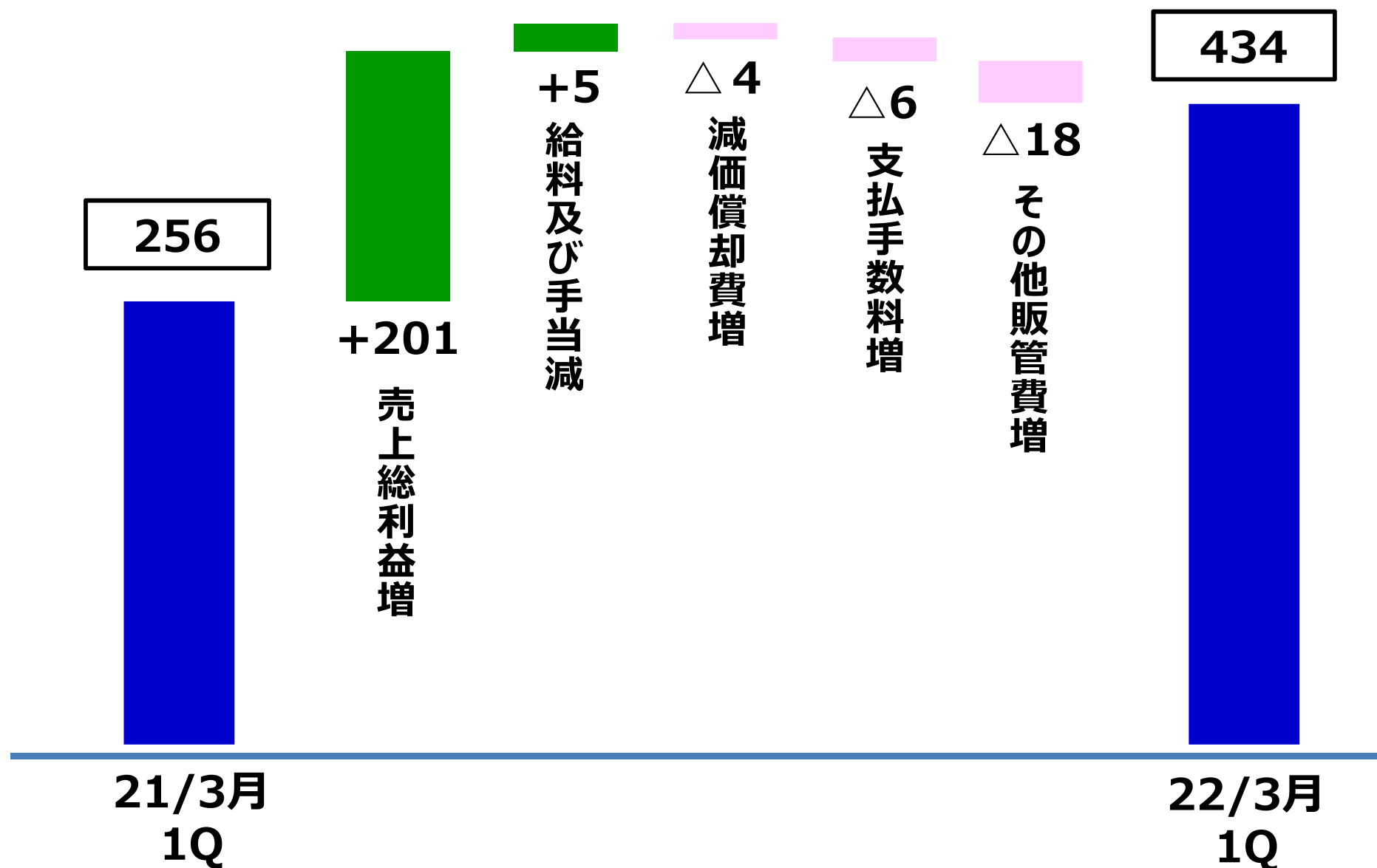


株式
会社

鳥羽洋行

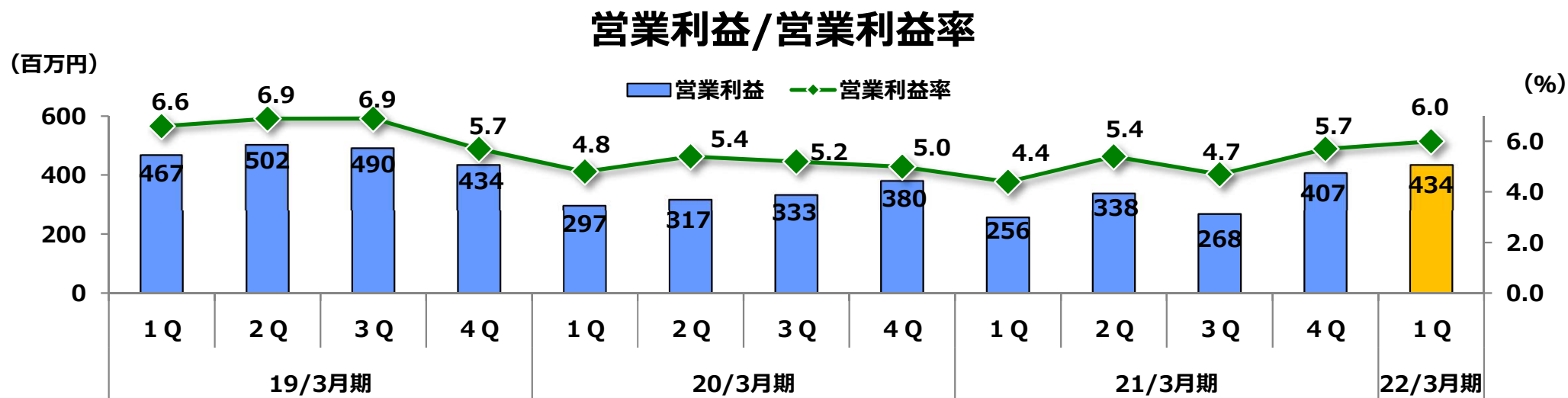
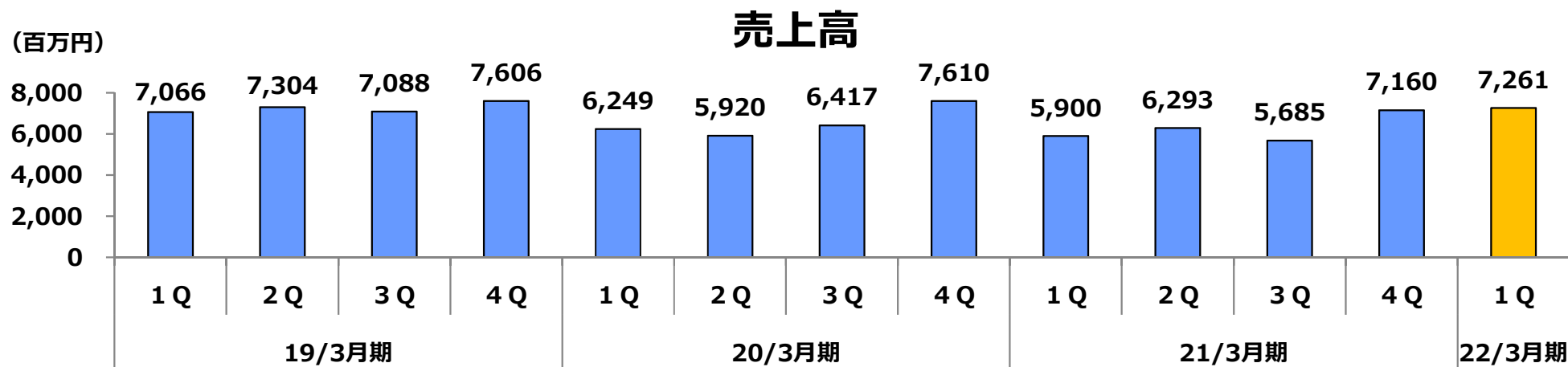
<営業利益増減分析>

(単位：百万円)



※数値は百万円未満を切り捨てて表記しております。

<四半期毎の売上高・営業利益の推移>

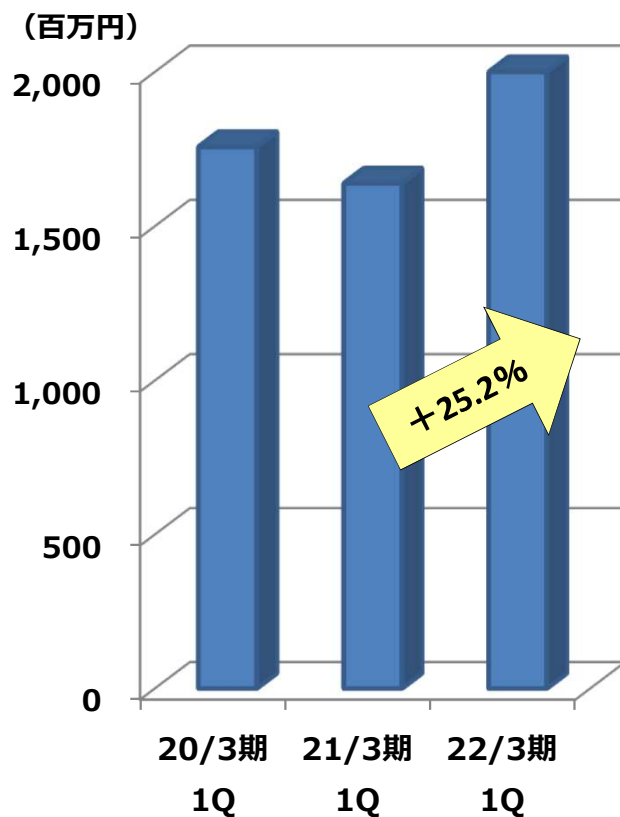


Point !

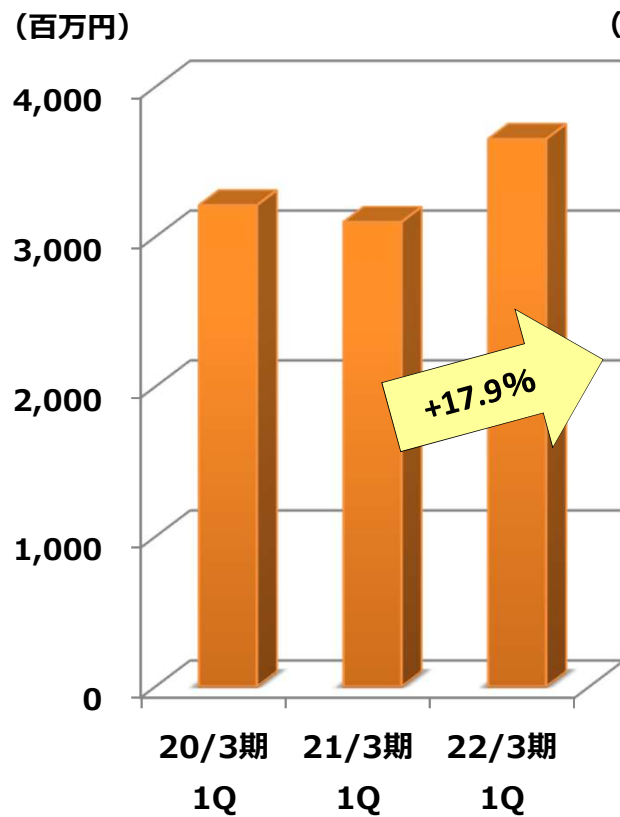
- 電子部品や半導体関連の得意先からの受注が好調に推移

<部門別売上高推移>

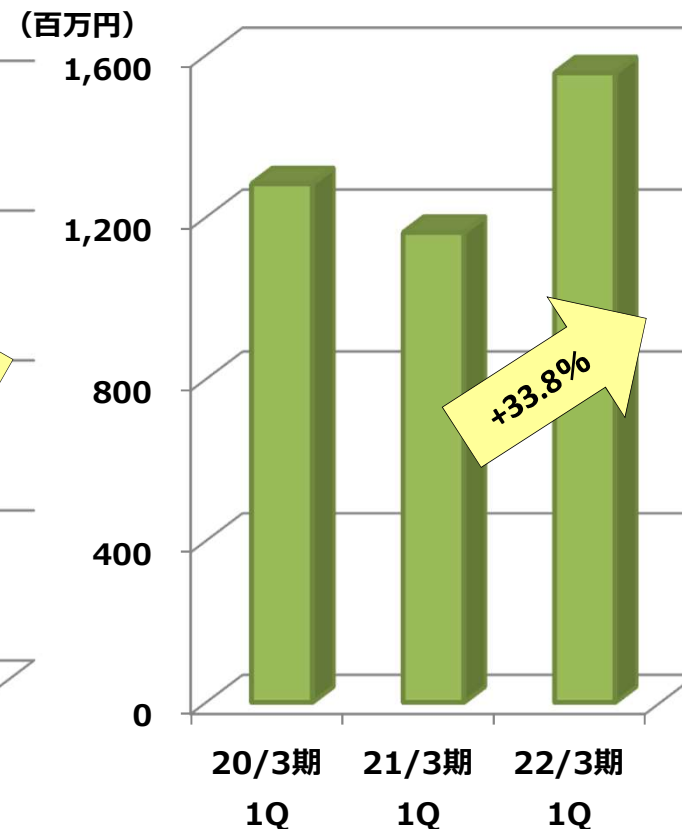
制御機器



F A 機器



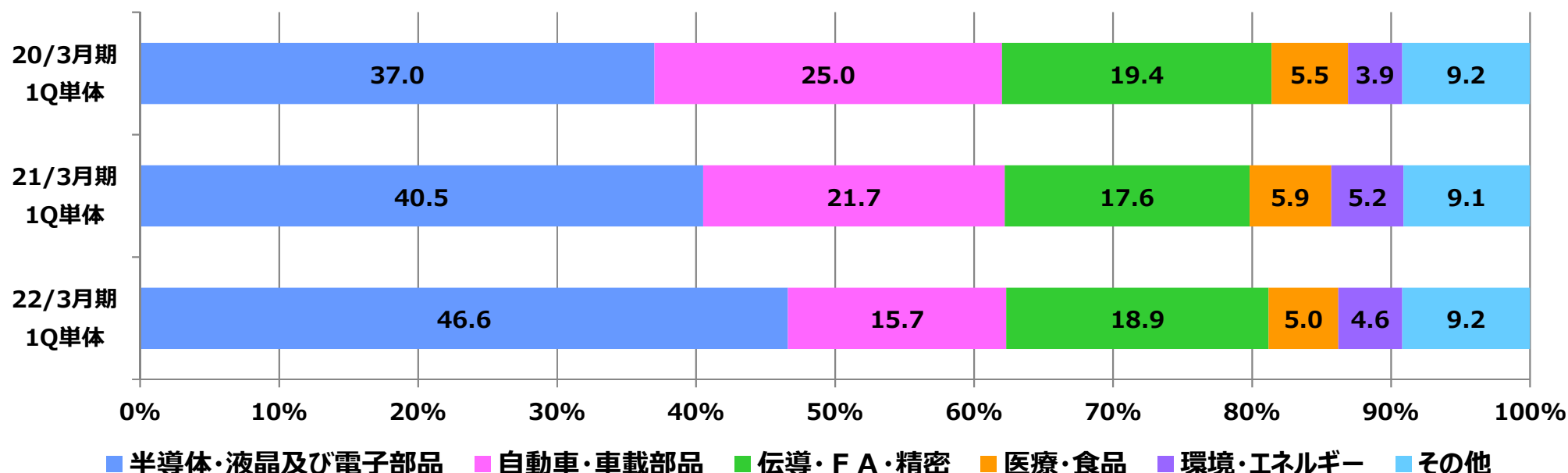
産業機器



Point !

- 【制御機器】半導体及び半導体製造装置や電子部品関連の得意先からの受注が好調に推移
- 【F A 機器】国内自動車・車載部品関連向けの出荷は前期に比較して減少したものの、スマホ関連向け得意先への販売が増加。海外販売も好調を維持
- 【産業機器】半導体に関連する得意先へろ過フィルターの販売は、前期に引き続き好調に推移し、自動車・車載部品関連の一部得意先へ乾燥炉関連の販売が増加

＜業種別売上構成比（単体）推移＞



Point !

＜半導体・液晶及び電子部品＞

半導体市場及びスマートフォン市場の回復を受けシェアが拡大（+6.1 P）

＜自動車・車載部品＞

半導体不足の影響による自動車生産抑制の影響を受け、一部得意先からの受注が減少しシェア縮小（△6.0 P）

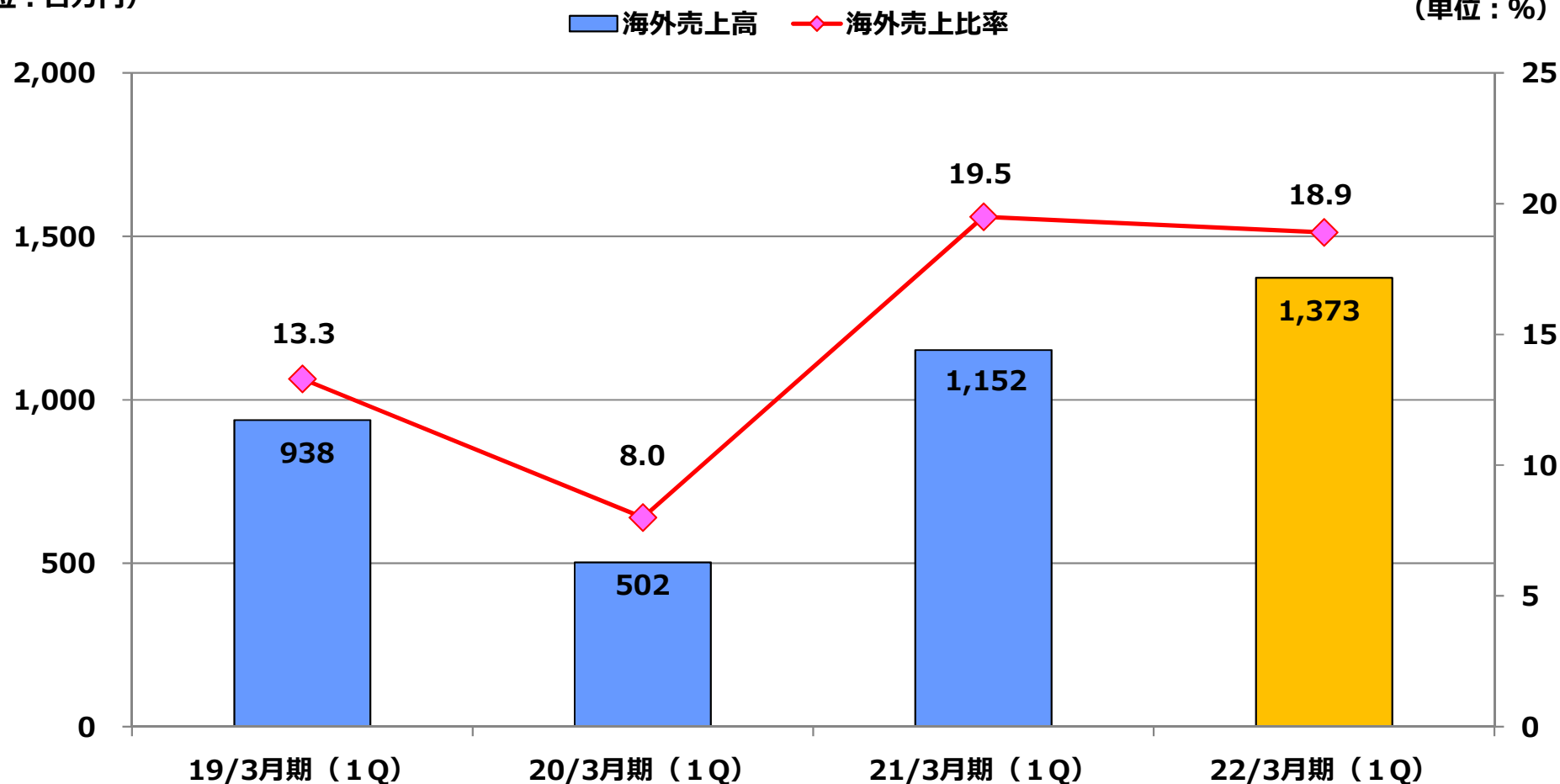
＜伝導・F A・精密＞

半導体・液晶製造装置や工作機械関連の得意先からの受注が増加しシェア拡大（+1.3 P）

<海外売上高・海外売上比率>

(単位：百万円)

(単位：%)



Point !

- スマートフォン関連得意先向けの販売が増加したことにより鳥羽（上海）貿易有限公司の売上が、前期に引き続き増加したことが主因

I.2022年3月期 1Q決算について



株式
会社

鳥羽洋行

<2022年3月期 1Q 貸借対照表の概要>

(単位：百万円)

	21/3月末	構成比 (%)	21/6月末	構成比 (%)	備 考
流動資産	20,786	76.3	21,766	78.6	
現金・預金	10,173	37.4	9,985	36.0	
受取手形・売掛金 ※1	10,163	37.3	11,500	41.5	
商品	368	1.4	244	0.9	
固定資産	6,443	23.7	5,933	21.4	
資産合計	27,230	100.0	27,699	100.0	
流動負債	8,397	30.8	8,898	32.1	
支払手形・買掛金 ※2	7,596	27.9	8,364	30.2	
固定負債	471	1.7	501	1.8	
負債合計	8,869	32.6	9,399	33.9	
純資産合計	18,361	67.4	18,300	66.1	
負債純資産合計	27,230	100.0	27,699	100.0	

(※1) 電子記録債権を含む

(※2) 電子記録債務を含む

Point !

- 構成比に大きな変化はありません。

Ⅱ . 今後の戦略及び見通し

＜海外の市場環境について＞

- ◆ 米国におけるワクチン接種は順調に進展しており、また、1.9兆ドルの政府による経済対策もあり、米国経済の回復は加速している。
- ◆ 欧州経済は、ワクチン接種が徐々に進み制限緩和され、緩やかな回復基調で推移している。
- ◆ 中国経済
 - ▶ いち早くコロナ禍から回復した中国の内需は堅調に推移しており、今後も継続していくものと判断。
 - ▶ スマートフォンの中国国内需要は好調に推移しており、「5 G」向けを含め設備投資が今後も増加していくものと予想。
 - ▶ 中国の自動車産業は、半導体不足の影響を受け減産に転じている。ただし、半導体供給の回復に伴い活性化していくものと想定。

＜国内の市場環境について＞

- ◆ 新型コロナウイルスの変異株の蔓延やワクチン接種率が低いこともあり、個人消費の低迷は継続し、国内経済の先行きは依然として不透明
- ◆ 自動車・車載部品業界
自動車産業は、世界的な半導体不足の影響により生産を抑制される状況にいたっているが、自動車産業全体としては徐々に回復し、C A S E等の新技術への対応による設備投資もあり、拡大していくものと予想。
- ◆ 半導体及び半導体・液晶製造装置業界および電子部品業界
データセンターや高速通信規格「5 G」への投資拡大や自動車産業の回復等、新型コロナウイルス禍でも活況が継続し、設備投資は好調に推移するものと予想。
- ◆ 一部仕入先の需給ひっ迫
世界的な半導体不足の影響等により、当社仕入先の商品需給がひっ迫しており、受注から納期までの期間が長期化しております。

＜2022年3月期の戦略＞

◆次世代の柱となるユーザー開拓

- ▶ 5 G 関連潜在需要の取り込み
半導体、電子部品、CASE、スマートフォン、基地局、ゲーム等に関連する得意先
- ▶ 三品業界など自動化が進んでいない得意先への協働ロボット等、F A 機器の販売を積極的に展開

◆装置・システム案件の更なる拡販

- ▶ 単品販売から製造ラインの自動化まで、システムインテグレーション事業として拡販

◆半導体向けろ過フィルターやEビジネスでの売上拡大

- ▶ 専任担当者の増員等を検討し拡販

◆新商材の発掘

- ▶ 新型 A G V、新規協働ロボット等

◆海外拠点との連携強化し売上拡大

- ▶ ベトナム現地法人の早期黒字化支援
- ▶ 新規進出拠点検討

Ⅱ. 今後の戦略及び見通し



株式
会社

鳥羽洋行

<2022年3月期の業績予想>

(単位：百万円)

	21/3月期 (実績)	22/3月期 (予想)	前期比 (増減率)
売上高	25,040	26,500	5.8%
営業利益	1,272	1,390	9.2%
営業利益率	5.1%	5.2%	0.1 P
経常利益	1,384	1,490	7.6%
経常利益率	5.5%	5.6%	0.1 P
親会社株主に帰属する 当期純利益	949	1,020	7.5%
当期純利益率	3.8%	3.8%	±0 P

この資料には、2021年8月6日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではありません。

[問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住 所：〒112-0005

東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号：03-3944-4031

F A X：03-3944-4091

E メール：kanri-01@toba.co.jp